平成30年度「組織機構改正」の概要

人事課行政管理室

1　主な組織機構の改正

●「くらし保健福祉部」の設置

県政の重点施策（２本柱）である「子育て支援」と「高齢者の生き生き支援」に関する業務を一元化し，県民のくらしに関する保健・福祉の向上に総合的に取り組むため，**「くらし保健福祉部」を設置**する。

●「子育て支援課」の設置

幼保連携や少子化対策，子どもの貧困対策など，子育て支援に関する業務を一元化し，より一層推進するため，「くらし保健福祉部」に**「子育て支援課」を設置**する。

●「高齢者生き生き推進課」の設置

高齢者の生きがいづくりや健康づくりなど，高齢者の生き生き支援に関する業務を一元化し，より一層推進するため，「くらし保健福祉部」に**「高齢者生き生き推進課」を設置**する。

●「子育て・高齢者支援総括監」の設置

「くらし保健福祉部」に，県政の重点施策（２本柱）である「子育て支援」と「高齢者の生き生き支援」を総括する部長級の**「子育て・高齢者支援総括監」を設置**する。

●「燃ゆる感動かごしま国体」関連業務の一元化
（「競技力向上対策課」及び「競技力向上等総括監」の設置）

・　教育委員会から競技力向上対策関連業務を移管し，国体・全国障害者スポーツ大会局に**「燃ゆる感動かごしま国体（第75回国民体育大会）」に関する業務を一元化**する。

・　併せて，天皇杯・皇后杯の獲得に向け，各競技団体・企業等と連携するなど，オール鹿児島で更なる競技力向上に取り組むため，同局に**「競技力向上対策課」及び「競技力向上等総括監」を設置**する。

●「全国障害者スポーツ大会課」の設置

「燃ゆる感動かごしま大会（第20回全国障害者スポーツ大会）」の開催準備業務を着実に推進するため，国体・全国障害者スポーツ大会局に**「全国障害者スポーツ大会課」を設置**する。

【その他】

○「鹿児島のウェルネス」担当参事の設置

健康・癒やし・長寿に有益な本県の地域資源を「鹿児島のウェルネス」として国内外に効果的に発信し，観光客の誘致や県産品の販路拡大等を図るため，企画課に「参事(ウェルネス等担当)」を配置する。

○「観光課」の体制強化

増加する観光クルーズ船の受入等の課題に適切に対応し，更なる誘致拡大を図るため，観光課の体制を強化する。

○「畜産国際経済連携対策監」の設置

国際的な経済連携協定（日ＥＵ・ＥＰＡ，ＴＰＰ11等）の発効等に伴う課題に適切に対応するため，畜産課に「畜産国際経済連携対策監」を設置する。

○「国民健康保険課」の設置

県が新たに国民健康保険制度の財政運営主体となることに伴い，同制度の円滑な運用等を図るため，「国民健康保険課」を設置する。

○「原子力安全対策課」及び「薬務課」の体制強化

避難計画の見直しに係る関係市町への支援や，安定ヨウ素剤の住民への事前配布など，原子力防災対策を着実に推進するため，「原子力安全対策課」及び「薬務課」の体制を強化する。

2　職 員 数

簡素で効率的な組織機構の整備や民間活力の活用等により，引き続き職員数の縮減を図るとともに，当面する国体等にも適切に対応するため，必要な人員を確保する。

※　平成30年４月１日の最終的な職員数は，退職・採用の状況により確定。

（職員数は各年４月１日現在）

年　度	H28	H29	H30見込み
職 員 数	5,053人	5,059人	5,074人程度
対前年比	－	＋６人	＋15人程度 （国体除き：▲５人程度）

〈参考〉「行財政運営戦略」（平成24年３月策定）

一般行政部門における職員数については，行政サービスの充実にも留意しながら，次のような取組を進めることにより，業務量に応じた職員の適正配置を行い，その縮減を図る。

- 簡素で効率的な組織機構の整備
- 民間活力の活用，民間委託の推進等による現業業務等の見直し
- 普通建設事業費等の水準などを踏まえた執行体制の見直し
- 公社等外郭団体の職員派遣の見直し

改正の内容等

（「１　主な組織機構の改正」関連）

●「くらし保健福祉部」の設置

県民のくらしに関する保健・福祉の向上に総合的に取り組むため，「くらし保健福祉部」を設置。

●「子育て支援課」の設置

［組織体制］

県民生活局青少年男女共同参画課，保健福祉部子ども福祉課において各々所管する子育て支援に関連する業務を一元化し，「子育て支援課」を設置するとともに，子ども福祉課を「子ども家庭課」に改組。

［主な業務］

（子育て支援課）

・　幼保連携，少子化対策，子どもの貧困対策の推進　等

（子ども家庭課）

・　周産期・小児医療対策，乳幼児医療給付，児童虐待防止対策の推進　等

●「高齢者生き生き推進課」の設置

［組織体制］

県民生活局長寿・生きがい推進室，保健福祉部介護福祉課において各々所管する高齢者支援に関連する業務を一元化し，「高齢者生き生き推進課」を設置するとともに，課内に「介護保険室」を設置。

［主な業務］

・　高齢者の生きがいづくり（すこやか長寿社会運動など），健康づくり，介護予防，地域包括ケア，認知症対策の推進

・　介護保険制度の円滑な運用　等

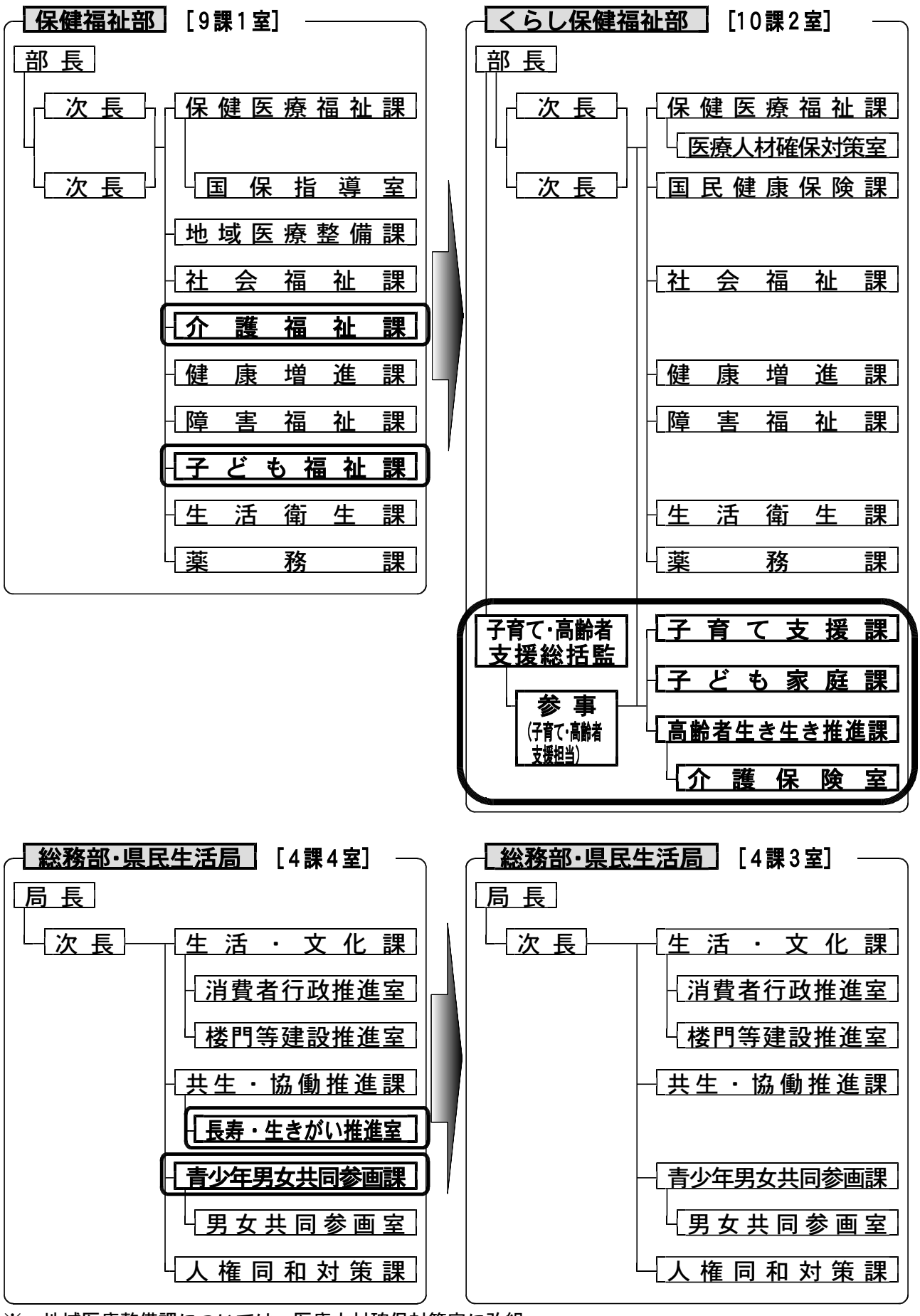
●「子育て・高齢者支援総括監」の設置

［組織体制］

子育て支援と高齢者の生き生き支援に関する業務を総括する「子育て・高齢者支援総括監（部長級）」及び「参事（子育て・高齢者支援担当）（次長級）」を設置。

［主な業務］

「子ども家庭課」，「子育て支援課」及び「高齢者生き生き推進課」の業務の総括　等



※　地域医療整備課については，医療人材確保対策室に改組。

●「燃ゆる感動かごしま国体」関連業務の一元化
（「競技力向上対策課」及び「競技力向上等総括監」の設置）

①「競技力向上対策課」の設置

［組織体制］

「燃ゆる感動かごしま国体（第75回国民体育大会）」に関する業務の一元化を図るとともに，天皇杯・皇后杯の獲得に向け，オール鹿児島で更なる競技力向上に取り組むため，国体・全国障害者スポーツ大会局に「競技力向上対策課」を設置。

［主な業務］

選手の育成・強化や鹿屋体育大学，企業等との連携強化など，競技力向上に向けた取組　等

②「競技力向上等総括監」の設置

［組織体制］

競技力向上と競技・式典に関する業務を総括する「競技力向上等総括監（次長級）」を設置。

［主な業務］

「競技力向上対策課」及び「競技式典課」の業務の総括　等

（アスリートバンクの活用や企業・競技団体との連携による有力選手の確保及び育成・強化，円滑な競技・式典の運営に向けた取組　等）

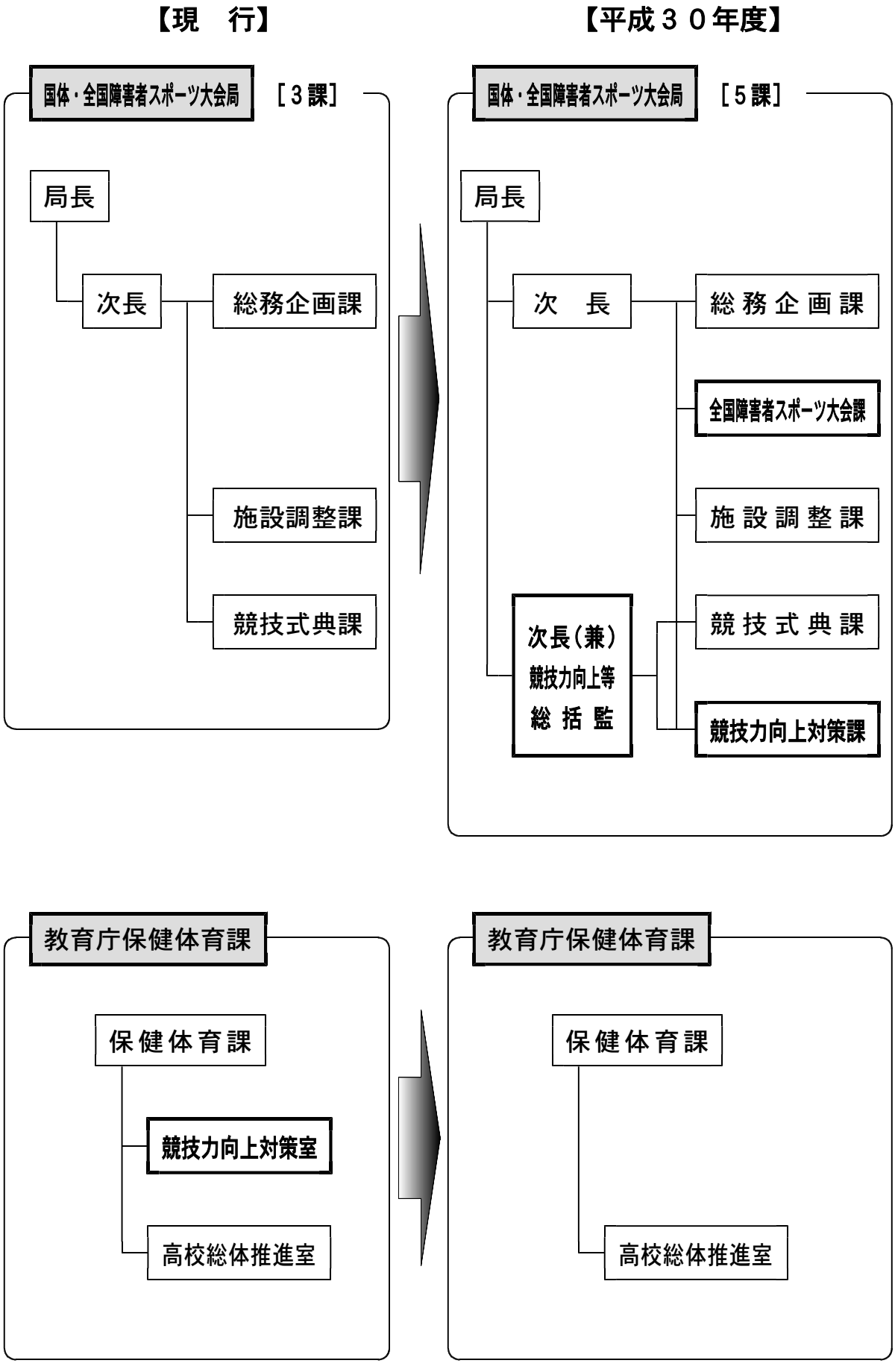
●「全国障害者スポーツ大会課」の設置

［組織体制］

「燃ゆる感動かごしま大会（第20回全国障害者スポーツ大会）」の開催準備業務を着実に推進するため，「全国障害者スポーツ大会課」を設置。

［主な業務］

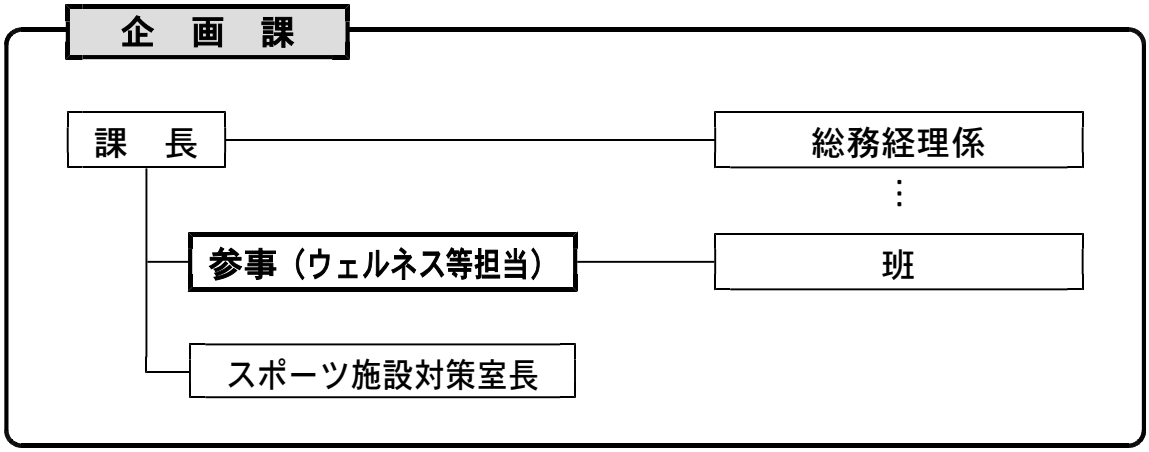
全国障害者スポーツ大会実施要綱の策定，競技会の開催準備　等


【現　行】
【平成３０年度】
国体・全国障害者スポーツ大会局
［３課］
局長
次長
総務企画課
施設調整課
競技式典課
国体・全国障害者スポーツ大会局
［５課］
局長
次　長
総務企画課
全国障害者スポーツ大会課
施設調整課
次長（兼）
競技力向上等
総括監
競技式典課
競技力向上対策課
教育庁保健体育課
保健体育課
競技力向上対策室
高校総体推進室
教育庁保健体育課
保健体育課
高校総体推進室

○「鹿児島のウェルネス」担当参事の設置

［組織体制］

本県の地域資源を「鹿児島のウェルネス」として国内外に効果的に発信し，誘客や販路拡大等を図るため，企画課に「参事（ウェルネス等担当）」を配置。



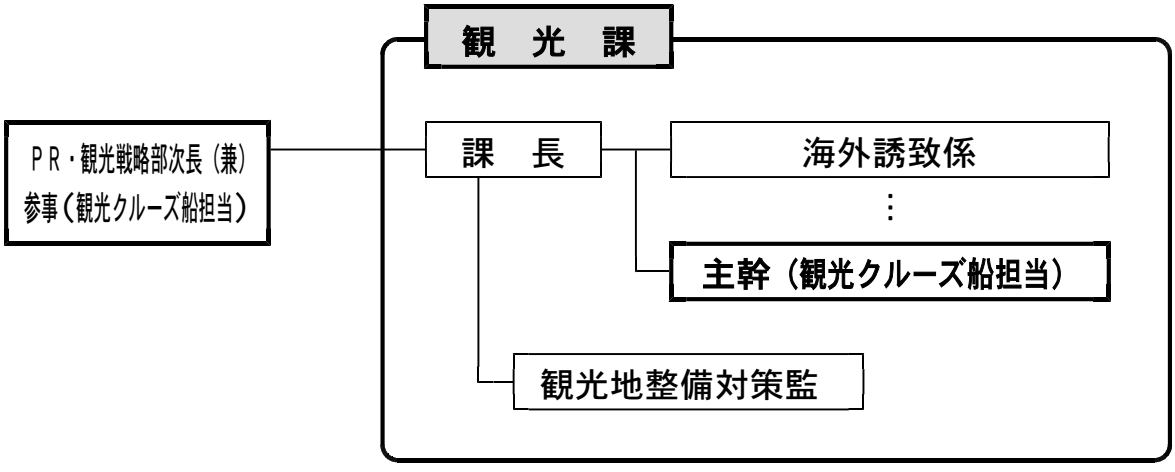
［主な業務］

- 「鹿児島のウェルネス」に関する各種施策の取りまとめ・進捗管理
- 政策課題への対応やその推進に関する企画・立案，各種調整　等

○「観光課」の体制強化

［組織体制］

観光クルーズ船の受入等の課題に適切に対応し，更なる誘致拡大を図るため，観光課に「主幹（観光クルーズ船担当）」を設置。



［主な業務］

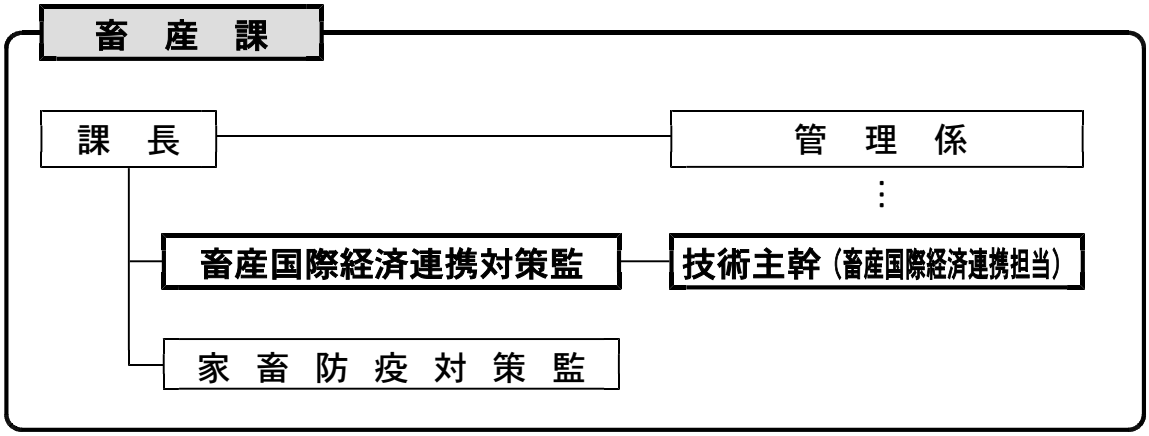
- クルーズ船の更なる誘致拡大に向けた取組
- 国際クルーズの拠点形成の推進　等

○「畜産国際経済連携対策監」の設置

［組織体制］

国際的な経済連携協定の発効等に伴う課題に適切に対応するため，畜産課に「畜産国際経済連携対策監」を設置。

（併せて，「技術主幹（畜産国際経済連携担当）」を設置。）



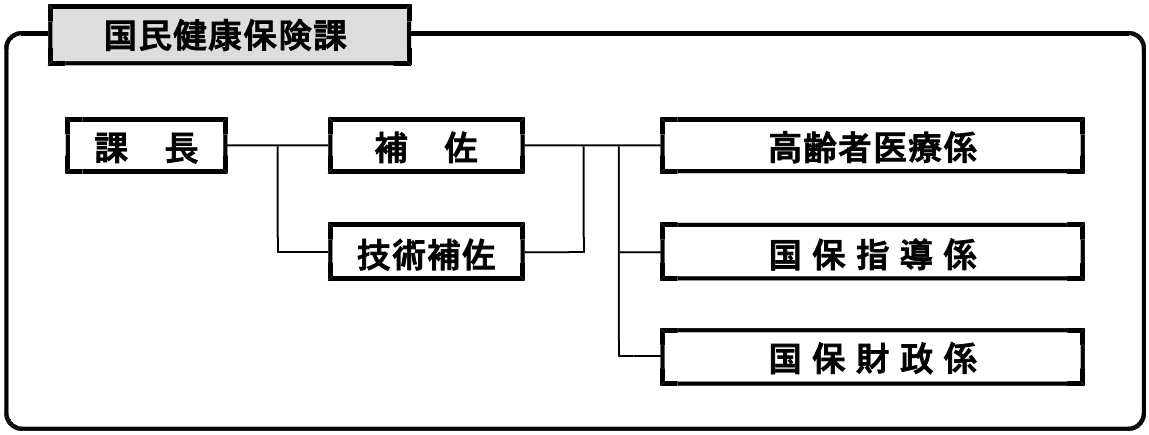
［主な業務］

- 畜産関係団体や市町村からの情報収集，意見の集約，国への提言
- 国際経済連携協定に係る対策の推進
- 本県畜産業に係る影響分析　等

○「国民健康保険課」の設置

［組織体制］

新国民健康保険制度の円滑な運用等を図るため，保健医療福祉課国保指導室を「国民健康保険課」に改組。



［主な業務］

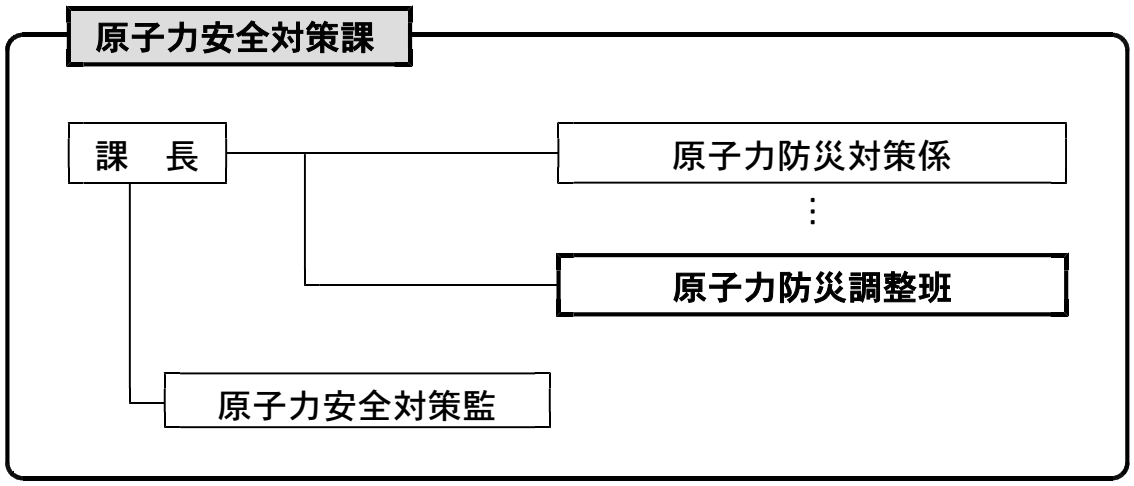
- 新国民健康保険制度における安定的な財政運営の取組
- 市町村毎の標準保険料率の算定・公表
- 運営方針に基づく保険者事務の効率化の推進　等

○「原子力安全対策課」及び「薬務課」の体制強化

①　原子力安全対策課に「原子力防災調整班」を設置

［組織体制］

避難計画の見直し支援等のため，原子力安全対策課に「原子力防災調整班」を設置。



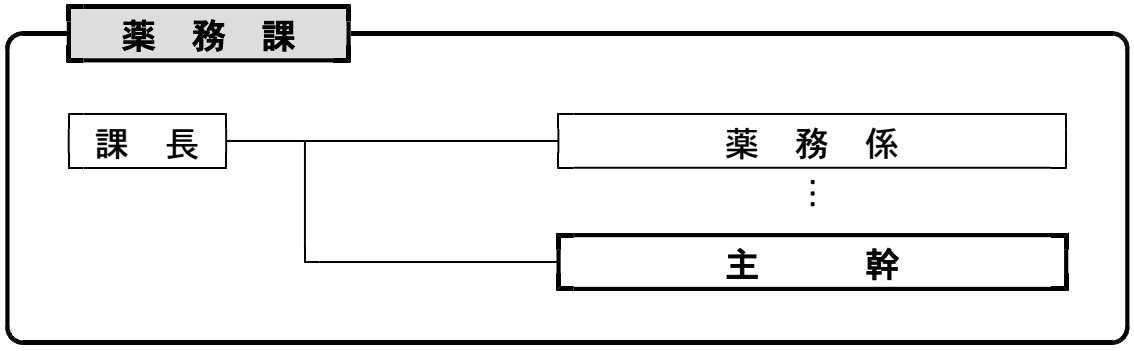
［主な業務］

- 避難計画の見直しに係る関係市町等との調整等
- 避難体制の充実・強化に向けた避難元市町と受入市町との調整　等

②　薬務課に「主幹」を設置

［組織体制］

安定ヨウ素剤の円滑な事前配布等のため，薬務課に「主幹」を設置。



［主な業務］

- 安定ヨウ素剤の調達，ＰＡＺ・ＵＰＺ内住民への説明会の開催及び事前配布
- 安定ヨウ素剤の保健所，市町，病院等への配備　等